

平成30年度

三宅町タウンミーティング

(7月1日)



三宅町

概 要

1. 日時

平成30年7月1日（日） 午前10時00分～午後12時00分

2. 場所

三宅町中央公民館 集会室

3. 主催

三宅町

4. 参加者

14人

5. 説明者

町長 森田浩司

6. 事務局

副町長 松浦功治 ・ 教育長 澤井俊一

部長級 6名 ・ 課長級 14名 ・ 政策推進課 5名

7. 傍聴者

14名（議会及び町職員）

8. テーマ

平成30年度当初予算主要施策について

9. 内容

- （1）町長によるプレゼンテーション
- （2）町長との意見交換会
- （3）役場からのお知らせ

要約記録

【意見1】

情報が、一般住民へ伝わってくる時、本当のことが伝わっていない気がします。

行政側が情報を開示したくない、本当の姿を見せたら何を批判されるかわからない、物をいえば反対や批評されるのではと・・・。

全国規模で見れば、統一された国の中で、三宅町は面積の小さな、人口の少ない中で、やるべき方向をみんなで考えることが必要であると思います。

町長がお話していることは、職員の方も同じだとは思いますが、まだ本当の話は表に出てきてない、そして違うことばかり表に出て、そればかり議論し、時間がきて終了となっている。

あとは何も残らずに、また振り出しに戻っていることが多く、相互不信があると思います。

森田町長

情報共有のための同じ情報がみなさんに伝わらなければ、話し合いにならないというのは、そのとおりだと思います。相互不信につながらないように、できる限りの情報を、まちづくりトークやタウンミーティング等において、共有できたらと思います。また、情報開示は不十分だと私も認識していて、しっかりと取組んでいかなければなりません。

しかし、一足飛びにはいかないもので、このような場で声をいただき、次はどうすればよいのか、どういった情報を出さなければいけないのか、ということも内部でも議論したいと思っています。

何でも出すのではなく、相手の方に迷惑をかける情報は出せない、という行政としてのガイドラインを持つ必要もあると思っています。課題やルールづくりも大事ではないかと思っています。

【意見2】

災害時において、実際には何が起るかはわかりませんが、例えば目に見えた形で、これから3年間みんなで勉強と、部署ごとの顔合わせを常時する。などを考えなければ、実際に災害が起こってからでは、急にどうすればいいのかということになり、対応ができないのが現実だと思います。

それで、てんでばらばらよりも、3年ほど前から想定して部署ごとの連携をしておけば、即対応できると考えます。

日頃より、住民も含めて顔を合わせておけば、そういった対応も可能になります。

他市町村と同じやり方なら、責任を問われないということでは、だめではないでしょうか。

森田町長

災害時には今から準備が必要、というご意見を頂きました。

今年度「地域防災計画」の見直しを行います。防災担当課のみで検討するだけではなく、町として横断的に庁舎内会議も含め、全員で作っていくものと思っています。

また、住民の方も交え地域ごとの課題も見直しながら、一緒に計画を作成したいと思います。

例えば、この部分は自治会の方でお願いします、これは行政で対応します、といった協働の話し合いもできればと思っています。さらに、見直しで終わりではなく、話し合いを毎年実施して、タウンミーティング等でご意見をいただきながら、より良いものをつくる話し合いや、考える場の必要性があると思います。

職員一同も考えていかないといけないと思いますので、このような場でも、様々なご意見を吸い上げさせていただきますので、ご協力の方よろしくお願いします。

【意見3】

今日は、14名しかいません。本当に寂しい限りです。抽選ならこれでも良いが、町のタウンミーティングなのに、女性の方もおられません。職員の方が多くおられる。私が職員なら、がっかりです。

施策どうこうの前に、聞いていただくというミーティングの趣旨を考えて、人集めから進めて、意見をもらわなければならない。

14名の意見が出たから、これで全町民7千人の意見であるとは、ならないと思います。

休日返上でご担当職員の方も来て頂いて、個々にご説明を受けることもできる。

町長がすべてオールマイティで回答できるといっても、それは無理な話です。

次回の開催時には、この会場に入らないくらいの人を、私達も協力して集める努力をしていかないと、双方が知恵を出し合って、三宅方式を良いほうへ進めていただけたらと思います。

森田町長

参加者が少ないのは、残念です。情報発信が足りない部分もあると思います。

行政側が、「開催するので是非来て下さい。」ではなく、お互いが話したいことがあるので、参加した、という相互の協力というのが必要かと思います。これが第一歩になると思います。

今までは、行政側が一方向的に、自治会に人員の依頼をして、動員というカタチが本当に良いのかと思っていましたので、思いを持ってこられる、思いを伝えたい方が集まり、段々と増えていくのが、私は一番良いと思っております。

その中で、タウンミーティングや、まちづくりトークといったところで、多くの建設的な意見が出たり、行政では考え及ばない話が出たりすると思います。

今後、努力を続けながら、住民の方も共に考えてもらえるような行政づくりに取組めるように、努力をしていきたいと思っております。できていないときは、ご注意くださいと思っております。

【意見4】

去年の8月20日、第1回タウンミーティングで観光について、ご説明いただきました。

あの時はかなりの人数が来ていたのに、なぜ今回は来ていないのか。

あの時のタウンミーティングはなんだったのだろうか。

フィードバックがどのような形でされたのだろうか。そこらがちょっと足りないのではないか。

「行っても仕方ない」、「何言っても一緒や」ということであれば、皆さん期待しない。

「やりっぱなし」、「やったからいいわ」ということでは無しに、あとのフォロー、フィードバックをしっかりやっていただければ、

「なるほど」ということになると思います

森田町長

フィードバックが不十分というのは反省するところです。

今年度は、まちづくりトークもはじめました。フィードバックをどの様にするのが、まちづくり協働推進事業の肝と考えています。不十分なところは試行錯誤させていただけたらと思います。

前回のフィードバックをこの場でさせていただくと、太子道沿いのトイレの話題が多く出ていたと思います。私はトイレだけを整備しても、観光の力にならないと考えています。何かがあってトイレが必要なら分かるのです。トイレがあるから人が来るかといえば、そうではないと思うのです。

伴堂の公民館にもトイレはあります、土日は、役場も公民館も開いています。コンビニ等のトイレを借りて、少しでも買い物してもらつと、地元にお金が落ちる観光とも考えています。

魅力を作りながら整備と考え、皆さんからの必要性を聞いた上で、回答をさせていただけたら。この回答が公表されていない、届いていないということが課題と思います。

【意見 5】

小学校の空調設備、今年は計画を立てて、来年施工ということですが、こんなに暑いのもっとはやくやってあげられませんか？ 今年、なぜ実行できないのですか？

普通の天井からぶら下げるパッケージエアコンを、取り付けすることで済むのであれば、設計なんて要りません。すぐにやったらどうですか？

澤井教育長

学校に応援していただけるご意見ありがとうございます。私も、町長さえ認めていただければ、今年でも設置できるかなと、簡単な知識しかないのです。町長もつけましようと言ってくれたのですが、過疎債を使つてつけようとする、調査をする教室が 28 教室あります。小学校は南館、真ん中の館、そして北館と三棟あり、全教室のエアコンをつけると、業者を入札する段取りのときに、どこに電気線を這わせて、どこにドレンを回して室外機を各教室の外に付けるのか、屋上に一括して付けるのか、電気はどう取るのか、おそらく今の電気の量では全く無理なので、動力の 200 ボルトで、キュービクルも根本的に変えます。専門的に全部委託して、どの壁をぶち抜くのか調査して、このような工事をお願いするといった下準備をして、工事発注、入札という手順になります。

その事前準備調査が、今年度予算を付けていただきましたので、一年かけて行って、来年工事の発注という段取りでございます。

※補足：補助金等があれば活用します。

【意見 6】

野球グローブ 100 周年記念において、できるかできないかわかりませんが、例えば、有名選手のイチローモデルみたいなものの発売を許可してもらえるように、どういう権利があるのか知りませんが、話し合いをつけて、新しく 100 周年記念として出すというのはどうでしょう。

イチローがダメなら、松井でもいいですし、衣笠でもよろしい。

とにかく有名選手の名前をつけて出せるように、モデルを 1 つでも記念商品として出せるような取組みができないでしょうか？

森田町長

100 周年のグローブモデルも、本当におもしろいアイデアと思います。

何かできることがないのかと考えます、今良いアイデアをいただきました。

プロの選手は契約がなかなか難しいところがあるのですが、現在、松坂大輔さんや内川選手も三宅のスパイクを履いていたり、少しずつ有名選手も使つておられると、スパイク業者さんが個人的に話しておられるので、三宅のブランドとして外に話してもいいよと言つてもらえたら、本当にいいと思います。

そのへんは権利関係もあるので、一概には言えませんが、おもしろいアイデアと思います。

【意見 7】

複合施設整備事業の基本構想は去年作られて、今年は基本計画を策定するというので、そのために町民からアイデアを募る。その手法としてワークショップというのは結構なことだと思いますが、最後、計画になってまとめた後に、議会で承認というプロセスを経ないと実現しません。

それがワークショップで作ったからということで、錦の御旗になって議会在拒否できない形になってはつまらないと思うのです。ですから、大きな基本のところは、事前に議会のOKをもらって進む、ステップバイステップというやり方をされるか、それとも、最後まで作ってこの案でどうでしょうと提示の仕方をするのか、最後まで1つの案で進めてしまうのは、住民の意見を聞いたことに本当になるのかと思います。議員さんは選挙で選びますが、ワークショップに参加される人は我々が選んだ人ではないわけですから。最後まで全部作ってしまうのは、やめた方がいい。どうしても作りたいのであれば、2・3の案を作って、それで議会にどれが一番いいですかと、議会が参加できるようなワークショップの進め方にしていただきたい。せっかくだったら議会と町行政の皆さんが対立するような結果を招かないような、進め方をお願いします。

森田町長

ワークショップの手法で大事なものは、私も担当と話し合っている中で、ワークショップの参加者が作った案の責任を負うのではなく、最終的には行政が、僕が責任を持ってこの方向でということ、内部でも話しながら意見も聞きながら最終決定をさせていただきたいと思っています。

責任を私が持ち決定したものを、議会に諮っていくという手法をとりたいと思っています。

ワークショップをやったからではなく、ワークショップで意見を聞いて、最終的に判断するのは行政側だと思っています。そのチェックを議会にかけていくというのは、おっしゃるとおりと思っています。

ワークショップというのは、住民さんが何を望んでいるのか、どうやったらうまく使えるか等を、行政だけではなかなか気づかないところのいいアイデアや、意見をきかせて頂くための手法であると考えています。

【意見 8】

平成30年度法人税が少ない。その法人税をいかにして集めるか、それには有力な企業を三宅町にいかにして引っ張ってくるか。京奈和道に乗ったら西名阪で都心に行くことが可能ですね。

ところが、道路ができて周辺の地理的条件の背景だけで企業って来てくれますか？

荒井正吾県政報告会も三宅町の議会報告会も参加しました。その内容がフィードバックされています。大事なことはフィードバックです。「みんなからこんな意見が出たんや」と。その意見を踏まえて、「これは部局に伝えますよ」と、提案された方も「あ、これ、俺が言った意見ここに載ってるわ」と、行って良かったなとなるのですよ。

企業立地は、ただ条件さえ整えば来るのかなと。私は疑問を呈するわけです。

森田町長

三宅インターだけでなく、将来的なまちづくりを考えると、来やすい要素として15分・20分、もしくは30分圏内にリニアの駅が新設されます。30分でリニアの駅まで行ける立地で、高速の下というのは企業にも非常に魅力的になってきます。物流の面でも、企業はリスクを懸念しています。その中で災害が少ないところのリスク管理も、メリットが高い複合的な要素です。

ただ、まだまだ発信力も無く、主要な企業ではジェイテクトさんとか、早く整備してほしいともいわれています。企業はずっと見ておられると思います。そのタイミングやいろんなものが合致したら、来られると思うのですが、要素だけではなく準備

をしていかなければいけません。

企業も計画の中で、設備的な投資計画や、将来的な展望の中で、タイミングを重要視されると思うので、複合的な要素が必要と僕は考えています。

フィードバックの件は言われるとおりで、全職員の共通課題として、認識すべきと思っています。

【意見 9】

地域防災計画ですが、今年度見直しをされると思います。

昨年の台風経験も踏まえて、見直しを早急に、何らかの形を示して欲しいです。

「今こういう見直しをしている」という、お知らせをする機会もあっていいと思います。

例えば広報に、見直しの進捗状況を「町はこういう見直しを考えている」という、内容が何回か掲載され、それで話し合いが詰まっていて、地域の皆さん方と、地域の特性を生かした計画ができあがると思います。

町行政だけで「こうしました」ということではなく、「こんなことで、課題はこうなのですよ」ということを提示していただけたら、私たちももうすぐできるのだなと感じられると思います。

森田町長

事業の進捗の報告と、情報といったところをどういふふうに出していくかという、必要性はおっしゃるとおりと思います。

ただ、タイミングも含めてどういふふうに出せるのかは、課題もあるとおもうのですが、そこは少し悩ませて頂き、今後の課題として考えさせていただけたらと思います

【意見 10】

小柳というのは本当にお店屋さんがありません。買い物するのもなかなか遠いです。

民間の「とくし丸」が週に1回か2回来てくれていますが、そんな中で商業計画の中で民間の力を借りながら、買い物難民を無くしていく方向も、少し考えていただけたらと思います。

本当に車で行ける人はいいのですが、お年寄り世帯、単身世帯がおられます。

これからどんどん増えていく可能性があります。

買い物難民に対する光が当たればと思います。

森田町長

買い物難民対策というところで、小柳だけではなく高齢化というのは三宅町でもかなり進んでいる中で、車に乗れない、高齢で買い物できない方への対策は、今後出てくる課題であると思います。

先日のまちづくりトークで、生駒市でやっておられるサービス、「ワンコインで買い物送ります」とか、マッチングができたらいいですねという意見もありました。

また、課題もあるかと思いますが、住民さんの力も借りられる方法も含めて、考えていかないといけないと思っています。行政が全部できる訳では無いので、住民さんの力を借りられるプラットフォーム、仕組みづくりというところも考えたいと思っています。

【意見 1 1】

リクエスト収集について、一見、それぞれの家庭も見回って状況を把握しながら、という主旨はいいのです。ただ、聞いた話なのですが、町に電話をして番号をもらって、紙に名前と番号を記入して貼って、町の方に来てもらう時間に待っていて、というのが歳いった人には難しいと。

「元気な方は電話して来ていただくのは、当然と思うけれど、お年寄りだけの世帯は電話をすることが億劫なのです」と言われたら、そういうこともあると思っていたところなのです。

それに変わるような、何か文面に書いて誰かに渡せるという方法もあっていいのではないのでしょうか。

今リクエスト収集にそういう方法はないと思うのです。若干改善していただくようお願いします。

森田町長

リクエスト収集、電話以外の方法というの、また今後の課題として持ち帰らせていただきます。

また、ご近所で「困っている」と言われたら、「じゃあ私が電話しましょう」と代わりにさせていただくという、近所の助け合いも是非取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

※補足：立ち会いは不要です。

電話による申込以外に、事情が異なりますが、聴覚障がい等で電話による申し込みが困難な方は、ファックスでの申し込みも可能です。

それ以外に、申込書を役場環境衛生課へご持参いただいても可能です。

なお、申込者自ら持参できない場合、お互いの同意があれば、何方かにお預けていただいても構いませんので、よろしくお願いします。

【意見 1 2】

防災の件で、テレビを見ていたら、先の地震のときの震度テロップに川西町と田原本町は出て、三宅町だけが出てなかったのです。

何か事情があったことだと思うのですが、分かれば教えてください。

森田町長

これも情報の伝達というところの課題と思います。

現在、役場の耐震工事を行っているのですが、工事期間中は震度計を切らせてもらっていたのが原因でした。

7月の16日から震度計を接続しますので、以降は震度が出るようになります。

これも皆さんに、事前にお伝えしておれば混乱が無かったのですが、申し訳ありませんでした。

【意見 1 3】

ふるさと納税の説明があったが、全体の使い道がちょっとピンとこないの、もう少し詳しく説明をお願いします。

総務部長

ふるさと納税の使い道ですが、29年度の充当状況についてご説明します。

小学校の卒業証書のレプリカ版、革でできた卒業証書配付事業に充当。

幼稚園での正課体育で、子ども達の体力、体育の能力向上事業にも充当。

サトイモ焼酎の作成に、酒造会社に作成を依頼しておりますので、一部充当しております。

平成30年度は、ふるさと納税で2800万円程度の収入を予定しております。

そのうち、協力企業さんの商品分を差し引いた金額を基金として積みますが、その基金から、今年は、子ども達の緊急時の送迎等に使う用途で軽自動車を購入させていただく予定です。

※訂正：平成29年度はふるさと納税で約2800万円の収入で、平成30年度は、3100万円程度の収入を予定しています。

【意見14】

但馬駅東側の、飛鳥川堤防踏切の閉鎖と、三宅小学校を南に行った黒田駅西側の踏切の拡幅について、15年ほど前に近鉄の本社と町議会さんが交渉していただけたけれど、うまくいかなかった、今は時代も変わって近鉄側もその当時の人と違うので、もう一度交渉してもらえないかと思います。

森田町長

町内には但馬駅だけでなく、石見駅もあります。

2車線にしようとしている町道1号線の踏切もありますので、優先順位はどこが高いのか検討し、今後三宅町のためになるのか、住民理解を含めてどうするかということを総合的に考えていかなければいけないと考えています。

【意見15】

ある市町村で、3年前まではふるさと納税が200万円であった。

三宅町と同様に特産品もないところでしたが、今は納税額が13億円である。

なぜかというと、お店が1軒だけあるそうですが、そのお店の一般日用品を町が総務省のいう約束を守りながら買い取って扱っている。それがとても喜ばれている。

ということは、子どもさんや野球をする方は、グローブを喜んでもらっているけれど、そうでない方もおられる。その担当者か村長さんの発想の転換だとは思いますが、総務省の特産品でなければいけないという縛りの解釈を変えて、一般日用品も含めて進められました。

特産品にこだわっていると、逆に品数が減ってしまうという意見です。参考になれば。

森田町長

その内容は把握しておりますが、三宅町のふるさと納税の制度として、産業振興に寄与したいということで、町で作ったものしか扱わないという方針を出しております。売り上げも大事ですが、地元企業の振興も大切です。三宅町の場合4割程度を地元に戻元していますが、売り上げ向上につなげて行きたいと考えています。売って買ってでは、三宅町の趣旨ではありませんので、地元の企業と共にふるさと納税に取り組みたいと考えております。

国の方からも3割に落としなさいといわれておりますが、産業振興と共にしているということで、別立ての方法を依頼しておりますが、なかなか厳しいです。総務省へ私も出向かせていただき、「ふるさと納税の趣旨は理解できるが、地元産のみで実施している自治体には、別案を考慮してもらえないか」と、提案しております。

三宅町産を出して行きたいという、町のスタンスを理解していただければと思います。

【意見16】

近鉄石見駅の改札口は、新しいロータリー側にはできますか。

もう一点、

田原本町には道の駅ができましたが、農産物の販売について田原本町の農家の方は置いてもらえるが、三宅町を含むほかのところは、置かせてもらえないと聞きました。

そこで、三宅町に道の駅を作る考えはないのか、ということをお聞きます

森田町長

近鉄石見駅の西側の改札は、非常に厳しいと思います。

理由として、西側に改札機を3台設置する場合、約1億円、点検で年間100万円程度が必要になります。また、7年に1回5千万円の更新費用必要で、財政的には厳しいです。

三宅町に道の駅を作れないかとのことですが、近隣に道の駅ばかりありましても、売り上げの取り合いでつぶれてしまっ
てはいけませんので、田原本町長とも話し合いをして、スタートしたばかりなので、田原本町だけの品物だけでまわらな
くなった場合、他町へも広げていくことも聞いておりますので、しばらく様子を見させてほしいとお聞きしております。

将来的には、連携活用を考えておりますので、三宅町での道の駅は考えておりません。